

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



いつもありがとうございます。40歳になったばかりの芦川永光です。年老いただなんて思いません。若い奴と思われるのはそろそろ終わりにしたい」と願って憧れた40歳代に、ようやく突入できた喜びに満ち満ちております。「若いのに○○だね」「若いから○○だね」といただく言葉もこれで卒業です！遺伝子

検査をして自分のカラダがどういうもんかも理解したので、この先の大病も怖くない！これからの方が多分、体調良く過ごせそうに思えるくらいです。
さりげなく、おめでたいお話
大分前のことですが、「運氣的に37歳から波に乗る」と言

大好物の
スイートポテト!!
だけど、甘いものは
ぼちぼち
減らしてかないと
痩せられないっす!



われて、早く生活をラクにしたいと願っていた日々もありました。が、それもとくに過ぎ去った今、知らぬ間にやってきた波に乗れたのかどうなのか、変化のウネリも追い風も感じぬままですが、おかげさまでたくさんのお仕事が波のように押し寄せております。若いころから仕事の選り好みをして、ここ最近では妻が妊娠中ということもあって、さらにお付き合い深いお客様を優先させていただいているワガママな会社ですが、ご鼻頂にしていたさきから感謝しております。あ、さりげなくぶつ込みましたが、3月に子供が産まれる予定です！

経営者として本物になりたいです！
これまた運氣的なここ最近の自己分析によりますと、今年には必ず終わらせてから次に進むことを要求される一年でした。実際に「条件が揃わない」と先へ進まないロールプレイングゲーム」のような、課題がズバリ何が分かって嬉しくなる反面、逃げずにやりきらなきゃヤバイ、何か一つでも残すとホントに一步も進ませてもらえないような日々でした。経営者として、数字や結果を初めて正面から受け止めた。仕事が多いからと逃げまくっていたことを直視して、これようやく会社なんだと実感しました。
2016年は、毎日浮いたり沈んだり、ホントいろいろなことがありました。上を向かないと涙がこぼれ落ちちゃうくらいしんどい時期もありました。そんな課題解決の一年も、まだ残り1ヶ月もあります。来年からは新しい種を蒔き始める時期に入るので、今年の最終最後、12月31日まで気を抜かずやり切ります！年内に禁煙を成功させたので、2017年最初にやることは「ダイエット」だあー！

料 金 後 納
郵 便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫
kando-soko

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103
TEL: 0463-79-9777
http://kando-soko.com
発行編集責任者: 芦川永光

Words by 梁瀬次郎 (ヤナセ2代目社長・会長)

最近思うことは、人と人、どうしても生まれてしまう「差」というのは、「決めているか決めていないか」に尽きるということです。

私には世界をよくする構想があります。私には絶対に諦めません。私は40歳になっても今から出来ると信じて疑っていません。

「今からでもできる」の道を歩くことを決めた先輩方や仲間の背中も見ながら、40歳代もどう生きるか決まりましたので、目的地まで一直線のロケットスタートをここでブチかまします！

その人の幸せ、不幸せを 決めるのは、「でも」か「では」だ。

40歳になって

「今からでもできる」と思うか、 「今からでは無理」と諦めるかは、

その人の10年後に 大きな影響を及ぼす。

アメリカの大統領選挙はトランプ候補の勝利ということで、会社の目の前で行われた「北京亭会議」で叫んでいたとおりにになりました(笑)。

アメリカの人たちは、現状で最も優れた「敗戦処理」ができるリーダーを選びましたね。大借金抱えても持ち直した経験があつて、しかも私財を突っ込んだ経験があつて、しかも私財を突っ

込んで選挙を戦い、スポンサーがたくさんバックアップしている相手、ヒラリーに勝ったビジネスマンですから。メキシコ国境に壁作るぞー！と鼻息の荒いトランプさん。崩壊が既に始まっているアメリカが、これを機に内向きになりつつ、他国への干渉を最小限に抑えながら健全化を目指すという

編集後記

アメリカが変わる!!日本はどうなる??

たら、アメリカはこれまでとまったく違った国になります。

これが波及して世界中で劇的な変化が始まると考えたら、日本のマスコミの「あれが、これが大変」と騒いでいるそれは、あまりにも小さいことなんですよ。さあ、来年は気持ちいいくらいに、もっと膿が出ますよー!



授業で発言しない学生は欠席です。本当に。

「D5すぎるカリキュラムで、グローバルリーダー育成」と国際学部が開設したとの広告です。学部長からのなんだか怖いメッセージ。このシリーズは、他にもあるのですが、並んでいると、インパクト大です。



マグロだけじゃない。

世界で初めて完全養殖を実現したという「近大マグロ」で有名になった大学ですが、あえて、マグロだけじゃないと言っています。国際学部に力を入れているので、やはりここも国際学部長が訴えているビジュアルになっています。



涼子の 気になっちゃう 広告!

近畿大学の募集広告

近畿大学は、大学入試試験の志願者数がここ3年、全国1位だそうです。関西のローカル大学がなぜ?と不思議ですが、それは、インターネットで検索していただくとして、今回は近畿大学の募集の広告をご紹介します!!



近大をぶっ壊す。

世界初、クロマグロの完全養殖。志願者数日本一。賞賛も浴びた。しかし古い大学界の秩序は何も変わらない。だから、不倒の精神で、挑戦を続ける。古い常識、概念を壊し続ける。そして、自分たちも…。近大をぶっ壊す。近大史上最大規模のキャンパス整備計画。近大は近大を超える。超近大プロジェクト、始動。

今回、近畿大学のポスターをたくさん見ていくうちに、とっても興味が湧いてきてしまいました。広告からみても、人気の早稲田大学、明治大学などを抜いて、志願者が1位という理由も納得です。大学も学生に選ばれなくては、経営が厳しい時代に関東の大学ではない近畿大学がこんなにも人気なのは、広告だけではありませんが、さまざまなことにチャレンジを続けているからだと思います。



いきなり世界戦や。

卒業生でもある赤井英和さんを起用した広告です。広告からのパワーすごい!! 近畿大学の広告は、SNSで拡散、話題にしようことを考えて作っているそうです。この広告も当時、とても話題になっていましたよ!!